



広報 ひこね

2003

2/15

雪化粧した彦根城いろは松



岡村さん（酒蔵で）

表紙では、「住みたい 住み続けたいまち」彦根の表情を写真で紹介しています。写真をお持ちでない場合は、**困**情報政策課広報係で撮影します。☎22-1411（内線431）へ気軽に連絡してください。

歴史を感じさせる景観で、彦根城を訪れる人を出迎える「いろは松」。表紙写真に見える、幹に「こも」を巻いた姿が冬の風物詩なら、3月下旬、木の根元に新酒を絞った袋の洗い汁をまく行事は、いろは松に実質的な春の訪れを告げるイベントと言えるのではないだろうか。

近年、樹勢の衰えが心配されるいろは松ですが、30年以上も続くこの洗い汁の散布が、松の健康維持に少しでもお役に立てば、洗い汁を提供している蔵元としてこんなにもうれしいことはありません。

ちなみに、近代的な日本酒醸造法では新酒を袋に入れて絞ることはせず、洗い汁も出ません。いろは松の健康に一役買えることも含めて、昔ながらのやり方を守って酒造りをしていることを誇りに思っています。

表紙のことば

岡村博之さんひろゆき（大上郡豊郷町）

歴史を感じさせる景観で、彦根城を訪れる人を出迎える「いろは松」。

表紙写真に見える、幹に「こも」を巻いた姿が冬の風物詩なら、3月下旬、木の根元に新酒を絞った袋の洗い汁をまく行事は、いろは松に実質的な春の訪れを告げるイベントと言えるのではないだろうか。

近年、樹勢の衰えが心配されるいろは松ですが、30年以上も続くこの洗い汁の散布が、松の健康維持に少しでもお役に立てば、洗い汁を提供している蔵元としてこんなにもうれしいことはありません。

ちなみに、近代的な日本酒醸造法では新酒を袋に入れて絞ることはせず、洗い汁も出ません。いろは松の健康に一役買えることも含めて、昔ながらのやり方を守って酒造りをしていることを誇りに思っています。